

6年	単 元 名	対称な図形
算数		

1. 単元の目標

対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりする力などを養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

学校図書館の資料からさまざまな対称な図形を見つけ出し、観察することをおして、身の回りの対称な図形を知り、それらの特徴や、対称になっているわけなどを考え、生活や社会と算数のつながりを意識した。

3. 授業での活用場面(12/12)

学習活動	学校図書館の関わり
<p>1 対称な図形について既習事項を確認し、本時の流れの確認をする。</p> <p>・線対称と対称の軸 ・点対称と対称の中心他</p> <p>2 めあてを決める</p>	<p>・学校司書と連携し、対称な図形が掲載されている資料をあらかじめ選定し、準備しておく。</p>
<p>対称な図形のひみつを見つけて友達に伝えよう</p>	
<p>A：作って発見チーム B：資料で発見チームの2つに分かれ、対称な図形の特徴について調べ、ホワイトボードに表す。</p> <p>3 各グループが見つけた特徴を伝え合う</p> <p>4 ふりかえり 新たに発見したことや気づき等にかく (赤ペンタイム)</p>	<p>・情報収集の際に大切にしたいポイントについて司書教諭と連携し確認する。</p> <p>・資料からの気づきについて全体で共有する。</p>

4. 考察（成果や課題等）

・学校図書館の資料から様々な対称図形を見つけた。世界遺産や自然の姿(雪の結晶)などが、対称な図形になっていることが分かり、子どもたちはその美しさに驚いていた。ちょうや飛行機など、「とぶもの」が線対称になっていることも見つけていた。

・資料から取り出すことに慣れていないこともあり、時間がかかった。